



# 自衛隊栃木地方協力本部

## いざ沖縄へ！入間定期便C-130で体験搭乗

栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 高井一陸尉）は、8月21日（水）、入間基地から那覇基地への往復定期便を利用したC-130体験搭乗を支援した。

入間に到着後、以前栃木地本で臨時勤務をしていた神山士長に偶然再会し、参加者に紹介した。神山士長は、空曹試験に合格したこともあり、以前よりさらに頼もしい隊員となっており、入隊予定者である柿沼さんに入隊時の持ち物や事前準備など細かく教えてくれた。柿沼さんと連絡先を交換するなど、入隊者の不安をやわらげ、先導する姿にとっても嬉しく感じた。柿沼さんは「神山士長のような頼もしい隊員がいる入間で一緒に働きたい！」と感激していた。無事搭乗手続きを済ませ出発し、鳥々を眺める景色に参加者は感動の声をあげた。到着した那覇基地の那覇空港では、滞在時間こそ短かったがおみやげのサーターアンダギーを購入するなど満喫できた様子であった。

大田原地域事務所は、「今後も、募集対象者等へ様々なイベントを紹介し自衛隊への興味を深め、志願者獲得に繋げていきたい」としている。



入隊予定者の柿沼さんと神山士長



先輩の参考になるお話



沖縄の地で記念撮影

## ヤクルト健康まつり広報展 ～真夏の足利で暑さに負けぬ広報を！～

自衛隊栃木地方協力本部足利地域事務所（所長 櫻井一陸尉）は8月25日（日）、足利市両毛ヤクルト販売株式会社で行われた「第11回ヤクルト健康まつり」において、広報展を実施した。

イベントには約3,000名の来場者があり多くの家族連れが訪れ、ぬり絵、制服試着などを楽しんでいた。特に制服を着て展示車両の前で隊員と記念撮影をする家族が多く、小さな子供たちも笑顔で楽しそうであった。

今回も中央即応連隊（宇都宮）の支援を受け、輸送防護車、軽装甲機動車の展示を実施した。足利では初となる輸送防護車にはカメラを構える方や質問をする方が集まり、多くの来場者との交流や地元ケーブルテレビの生中継などを通じ、自衛隊の魅力を発信することができた。

足利地域事務所は「今後も、暑さに負けぬ熱い広報で自衛隊をPRし、自衛隊の精強さをアピールするとともに地域住民との信頼関係をより深めていく」としている。



広報展の様子



自衛隊の説明の様子



展示車両の説明をする所長